

学び続ける熱意を! 一緒に学ぼう 共に育もうー

平成28年1月30日（土） 大阪市教育センター

1 日 時 平成28年1月30日（土）

13:00~17:00 (開場・受付12:30より)

2 場 所 大阪市教育センター 大阪市港区弁天1-1-6

地下鉄中央線「弁天町」駅2番出口（2-B）左へ20m
JR「弁天町」駅南口を西へ150m

3 時 程



【12:30より受付開始】

4 内 容

全体会

講堂 13:50~15:10

挨拶 大阪市教育委員会 教育長 山本晋次

講演「児童生徒のアクティブ・ラーニングを支える、
デジタル思考ツールの活用」

つくば市教育局総合教育研究所 副所長 毛利 靖

《講師プロフィール》

茨城県公立小中学校教諭を経て、2001年より指導主事としてつくば市内の小中学校教育の情報化を推進。同市初の施設一体型小中一貫教育校 春日学園教頭に就任。21世紀型スキル(言語力・論理的思考力・表現力等)の習得をめざしてアクティブ・ラーニングを取り入れたICTの活用を推進。文部科学省「学びのイノベーション推進協議会」小中ワーキング委員等を歴任され、現在は総務省「先導的教育システム実証事業」評価委員としてご活躍。

《講演概要》

つくば市では、児童生徒が意欲を持って何事にもチャレンジし、つくば市を愛し自分たちでより良いまちづくりに参画するとともに、世界に羽ばたき活躍できる人材の育成を図るため授業改善に取り組んでいます。その中で大切にしていることは、いかに児童生徒に主体的な活動を取り入れた授業を行うかということです。これまでの一斉授業から脱却し、児童生徒自ら探究し発見するアクティブ・ラーニングの授業スタイルに、デジタル思考ツールを組み込み、論理的思考力など21世紀型スキルを高めようと日々授業改善に取り組んでおります。わくわく楽しい授業の様子をご紹介します。

オープニング (13:00~13:40)

- 2階 講堂 ICT機器、思考ツールを活用した、子どもの主体的・協働的な学習に先進的に取り組んでいる「つくば市立春日学園（小中一貫校）」の公開授業の様子をビデオで紹介します。
- 2階 講堂フロア 参加体験型で主体的に学ぶ「人権教育連続講座」の様子について展示します。
- 4階 研修室等 特別支援教育の理解を深める実践や体験、教材等を紹介します。
 - A)学習活動への注意力・集中力を高めたり、気分転換を図ったりするための具体的な実践の紹介
 - B)視覚障がいを理解するための疑似体験
 - C)障がいのある子どもへの摂食指導
 - D)特別支援教育に関する教材・DVD・ICTアプリ等の紹介
- 6階 フロア 海外派遣や大学院などの学びについて、『外部連携研修』分科会で報告する先生方が作成した掲示資料（パネル）を展示します。

分科会

各研修室 15:30~17:00

No.	タイトルと内容	会場	定員
①	<p>〈学力向上〉 子どもの学力向上をめざして！</p> <p>児童生徒の学力向上をめざし、特色的・効果的な実践を行っている小学校・中学校の取組事例を報告します。規範意識の醸成を図り、学習環境を整えることで、学校が落ち着き、活性化していくことについての発表です。</p> <p>「学習ツールの活用で言語活動」「自学自習につながる主体的な学びの実現」「笑顔あふれる花園に！」「生徒指導を基盤とした授業展開」「グランドデザイン宮原の樹」各校の独自性や地域性を生かした取組から、それぞれの学校でどのように実践していくことができるかを考え、参考にしてください。また、保護者の方にもご参加いただける分科会ですので、お声かけをお願いします。</p> <p>（報告者）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・玉造小学校 教諭 吉村 幸子 ・阪南小学校 教諭 盛田 恒平 ・瓜破西小学校 校長 岡野 雅子 ・春日出中学校 教諭 山崎 郁夫 ・宮原中学校 校長 恩塚 千代 	2階 講堂	540
②	<p>〈特別支援教育〉 人と関わる力の土台づくりは日々の授業から 「指示の仕方や活動の工夫で、気になる子どもの行動がかわる！」</p> <p>「話を集中して聞く」「ルールを守る」「周りに合わせて活動する」「自分の考えを伝える」「友だちと協力する」「困った時は助けを求める」等、日々の授業の中には、ソーシャルスキルの要素がたくさんあります。これらのソーシャルスキルの獲得が難しい子どもは、授業や人ととの関わりの中で困っているかもしれません。みんなが一緒に楽しく学べるようにするために、また、授業を通してソーシャルスキルを身につけさせるためには、環境の調整やわかりやすい指示の仕方、ポジティブな言葉がけ、参加し易い活動内容、個別の支援等、子どもの実態に応じた様々な工夫や支援が必要です。</p> <p>「子どもの授業に集中できる時間が、6分から37分に伸びた！」子どもの行動の変化について、小学校3年生の授業から得た記録データをもとに報告します。</p> <p>（報告者） 大阪市教育センター 所員 貴志 紀佐子 （指導助言者） 関西国際大学 教授 柚木 隆太郎</p>	4階 研1	40
③	<p>〈情報教育〉 情報モラル教育もアクティブ・ラーニング！</p> <p>子どもたちが自分自身の問題として考える情報モラル教育を実践してみませんか？ここでは、スマートホンをテーマにした情報モラル教育の実践を紹介します！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校の実践では、「LINE」について子どもたちが話し合う授業、道徳と学級活動をコラボした授業、「スマホ依存」を題材にした担任と養護教諭とのTTによる授業を紹介します。中学校の実践では、生徒会を中心としたOSAKAスマホサミットまでの取り組み等を紹介します。（A分科会） ・学習用スマホアプリ（アンドロイド用）開発！独自アプリの開発に興味がある方の参考になればと思っています。（B分科会） <p>（報告者）</p> <p>A分科会[4階 研2]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・むくのき学園 教諭 宮野 千賀子 ・堀江小学校 教諭 富崎 直志 ・九条南小学校 指導教諭 津田 直子 ・教諭 枝 勇樹 ・井高野中学校 校長 高橋 伸欣 <p>B分科会 [5階 パソコン実習室]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・扇町総合高等学校 教諭 村上 嘉朗 	(A) 4階 研2 (B) 5階 パソコン 実習室	40 30

<p>④</p>	<p>〈道徳教育〉 「特別の教科 道徳」に向けて、道徳教育の充実を図ろう！ ～子どもが、教員が、学校が変わる～</p> <p>小学校は平成30年度から、中学校は平成31年度から、「特別の教科 道徳」(道徳科)が完全実施になりますが、これまで先生方が実践されてきた「道徳性を育む」という視点は変わりません。では、何が変わるのでしょうか。これから道徳の時間の更なる充実の必要性について提案します。研究指定校の取組が先生方の実践のヒントになるはずです。道徳教育の充実が、学校全体の活性化につながることを一緒に考えていきましょう。</p>	<p>5階</p>	<p>50 講義室</p>																
<p>⑤</p>	<p>〈外部連携研修報告〉 教師力向上のための新たなヒントがいっぱい！</p> <p>海外派遣や大学院等の外部連携研修で学んだ先生方が、「確かな実践的指導力」「地域等との連携」「コミュニケーション力の育成」「生徒指導の充実」など、教育現場が抱える重要な教育課題についての“学び”について、ポスターセッション形式で報告します。</p> <p>外部連携研修での“学び”には、授業づくり、子ども理解などの「教師力」を高めるための新たなヒントが豊富に盛りこまれています。海外派遣や大学院等で学びを深められた先生方と一緒に、今後の教育実践について考えていきましょう。</p> <p>〈報告者〉</p> <table border="0"> <tr> <td>・真住中学校 教諭 西川 久美子</td> <td>・工芸高等学校 教諭 前原 真琴</td> </tr> <tr> <td>・大正中央中学校 教諭 小谷 美記子</td> <td>・小林小学校 教諭 山崎 義正</td> </tr> <tr> <td>・堀江小学校 教諭 川村 幸久</td> <td>・摂陽中学校 教諭 鳥飼 正葵</td> </tr> <tr> <td>・大和田小学校 教諭 越智 泰子</td> <td></td> </tr> </table>	・真住中学校 教諭 西川 久美子	・工芸高等学校 教諭 前原 真琴	・大正中央中学校 教諭 小谷 美記子	・小林小学校 教諭 山崎 義正	・堀江小学校 教諭 川村 幸久	・摂陽中学校 教諭 鳥飼 正葵	・大和田小学校 教諭 越智 泰子		<p>6階</p>	<p>50 図書室など</p>								
・真住中学校 教諭 西川 久美子	・工芸高等学校 教諭 前原 真琴																		
・大正中央中学校 教諭 小谷 美記子	・小林小学校 教諭 山崎 義正																		
・堀江小学校 教諭 川村 幸久	・摂陽中学校 教諭 鳥飼 正葵																		
・大和田小学校 教諭 越智 泰子																			
<p>⑥</p>	<p>〈ICT活用の実践〉 ICTを活用した授業づくりに向けて！</p> <p>全校にタブレット端末が整備されます。学校にタブレットが入ったら、「授業はどう変わるの！？」 「児童生徒の学びはどうなるの！？」と思われていませんか。ICT教育を推進していくための秘訣を、小学校・中学校・授業づくり指導員・ICT支援員が、それぞれの立場で報告します。各校の「はじめの一歩」に活かしてください。</p> <p>〈報告〉</p> <table border="0"> <tr> <td>・阿倍野小学校 ・堀江小学校 ・昭和中学校</td> </tr> <tr> <td>・授業づくり指導員 ・ICT支援員</td> </tr> </table>	・阿倍野小学校 ・堀江小学校 ・昭和中学校	・授業づくり指導員 ・ICT支援員	<p>6階</p>	<p>50 研3</p>														
・阿倍野小学校 ・堀江小学校 ・昭和中学校																			
・授業づくり指導員 ・ICT支援員																			
<p>⑦</p>	<p>〈協働学習の授業デザイン〉 21世紀型能力の育成をめざした授業づくり</p> <p>これから求められる21世紀型能力の育成をめざした授業づくりについて、小学校算数・理科、中学校理科の具体的な授業実践の報告をします。具体的な実践報告から、今求められている「21世紀型能力」についての理解を深めます。</p> <p>また、小学校・中学校の実践例を比較することで、「日々の授業をどのような視点で変えていけばよいか」「そのためにはどのような工夫が考えられるか」を、皆さんと一緒に考えたいと思っています。校種・教科に関わらず幅広く参加いただき、有意義な話し合いにしていきましょう。</p> <p>〈報告者〉【大阪市教育センター一所員】</p> <table border="0"> <tr> <td>・阪南小学校 教諭 國光 妙子</td> <td>・喜連東小学校 指導教諭 工藤 健司</td> </tr> <tr> <td>・淡路中学校 教諭 米田 典生</td> <td></td> </tr> </table>	・阪南小学校 教諭 國光 妙子	・喜連東小学校 指導教諭 工藤 健司	・淡路中学校 教諭 米田 典生		<p>7階</p>	<p>40 理科研</p>												
・阪南小学校 教諭 國光 妙子	・喜連東小学校 指導教諭 工藤 健司																		
・淡路中学校 教諭 米田 典生																			
<p>⑧</p>	<p>〈小学校外国語活動〉 Let's enjoy our English class! アクティブラーニングの視点から考えてみませんか？</p> <p>学習指導要領改訂の視点の一つ“子どもたちが「どのように学ぶか」”に焦点をあて、教室英語・コミュニケーションの場面設定・歌やチャンツの活用等「指導法の工夫」について、模擬授業を通して体験しながら考えていきます。</p> <p>〈報告者〉 大阪市教育センター 指導主事 信貴 通子 指導教諭 廣瀬 桂子</p>	<p>7階</p>	<p>45 スタジオ</p>																
<p>⑨</p>	<p>〈海外研修報告〉 English teaching methods</p> <p>英語の授業を英語で教える指導法を実際に体験してみませんか。今年度の大阪市英語科教員海外研修においてオーストラリア・クイーンズランド大学で3週間学んだ先生方が、明日からの授業にすぐ使える英語指導法をアクティブラーニングに伝達します。英語の授業を英語で教える「授業づくり」に向けて、参考になる内容ばかりです。</p> <p>〈報告者〉</p> <table border="0"> <tr> <td>・文の里中学校 教諭 小谷 智範</td> <td>・新豊崎中学校 教諭 菊地 伸江</td> </tr> <tr> <td>・大池中学校 教諭 斎藤 聰子</td> <td>・新東淀中学校 教諭 田村 尚子</td> </tr> <tr> <td>・墨江丘中学校 教諭 李 静香</td> <td>・玉津中学校 教諭 宋 由香</td> </tr> <tr> <td>・美津島中学校 教諭 安達 智子</td> <td>・大正東中学校 教諭 田中 美江</td> </tr> <tr> <td>・野田中学校 教諭 白川 伸一</td> <td>・新北島中学校 教諭 楠 真一</td> </tr> <tr> <td>・天下茶屋中学校 教諭 岡田 啓佑</td> <td>・佃中学校 教諭 宋 美香</td> </tr> <tr> <td>・南高等学校 教諭 武田 佐智子</td> <td>・南高等学校 教諭 渡部 ひろみ</td> </tr> <tr> <td>・東高等学校 教諭 庄司 美千代</td> <td></td> </tr> </table>	・文の里中学校 教諭 小谷 智範	・新豊崎中学校 教諭 菊地 伸江	・大池中学校 教諭 斎藤 聰子	・新東淀中学校 教諭 田村 尚子	・墨江丘中学校 教諭 李 静香	・玉津中学校 教諭 宋 由香	・美津島中学校 教諭 安達 智子	・大正東中学校 教諭 田中 美江	・野田中学校 教諭 白川 伸一	・新北島中学校 教諭 楠 真一	・天下茶屋中学校 教諭 岡田 啓佑	・佃中学校 教諭 宋 美香	・南高等学校 教諭 武田 佐智子	・南高等学校 教諭 渡部 ひろみ	・東高等学校 教諭 庄司 美千代		<p>7階</p>	<p>40 家庭科研</p>
・文の里中学校 教諭 小谷 智範	・新豊崎中学校 教諭 菊地 伸江																		
・大池中学校 教諭 斎藤 聰子	・新東淀中学校 教諭 田村 尚子																		
・墨江丘中学校 教諭 李 静香	・玉津中学校 教諭 宋 由香																		
・美津島中学校 教諭 安達 智子	・大正東中学校 教諭 田中 美江																		
・野田中学校 教諭 白川 伸一	・新北島中学校 教諭 楠 真一																		
・天下茶屋中学校 教諭 岡田 啓佑	・佃中学校 教諭 宋 美香																		
・南高等学校 教諭 武田 佐智子	・南高等学校 教諭 渡部 ひろみ																		
・東高等学校 教諭 庄司 美千代																			

⑩	<p>〈がんばる先生支援 A〉 研究報告</p> <p>(1) 【グループ・基礎研究】(幼小連携) 《研究代表園: 九条幼稚園》 「幼児期にふさわしい教育を実践する市立幼稚園 ～幼小連携を通して、幼児期の教育から小学校教育への接続について考える～」</p> <p>(2) 【個人・今日的課題研究】(理科教育) 「生活科・理科の接続カリキュラムにおける授業デザインⅢ ～学校自然環境の生成を視点として～」</p> <p>(3) 【グループ・今日的課題研究】(特別支援教育) 「ICTを活用した、病弱教育における『つなぎ支援』の在り方を研究する ～ロボットやインターネットなどの最先端機器の効果的な活用～」</p> <p>〈報告者〉</p> <p>(1)住吉幼稚園 園長 梶川 景子 主任 及川 志乃 (2)中大江小学校 教諭 稲井 雅大 (3)光陽特別支援学校 教諭 橘岡 正樹</p>	7階 研4	50
⑪	<p>〈がんばる先生支援 B〉 研究報告</p> <p>(1) 【グループ・基礎研究】(言語活動) 「自分の思いや考えを進んで表現する子どもを育てる ～伝え合う力の育成をめざした国語の授業づくり～」</p> <p>(2) 【グループ・今日的課題研究】(ピア・サポート活動) 《研究代表校: 成南中学校》 「いじめ・不登校・問題行動を生まない『安心・安全な学校をつくる マルチアプローチ・プログラム(包括的生徒指導)』の研究」</p> <p>(3) 【グループ・今日的課題研究】(ものづくり教育) 「伝統的なからくり技術と3Dプリンタの融合」</p> <p>〈報告者〉</p> <p>(1)市岡小学校 教諭 佐藤 智美 教諭 平井 沙樹 教諭 山本 岳 (2)田中小学校 教諭 佐伯 桂 白鷺中学校 養護教諭 小山田 和子 中央小学校 教諭 上里 佳代 (3)泉尾工業高等学校 教諭 西野 貴宏</p>	8階 研5	80
⑫	<p>〈アクティブ・ラーニング〉 実践 1</p> <p>中央教育審議会のいわゆる「質的転換答申」や「高大接続・一体改革答申」等で「アクティブ・ラーニング」という言葉が使われて以降、学校現場ではアクティブ・ラーニングに対する認知が高まるとともに、賛否が様々に議論されるようになっています。本分科会ではとにもかくにも、アクティブ・ラーニングなるものを参加者全員で体験することにより、明日へ向けた活力とし、ご自身のアクティブ・ラーニング観を高め、みなさんの教育実践の一助となるよう考えています。</p> <p>当日は、実際に生徒たちが受けている授業内容をもとに、「教育コーチング」をベースとしたアクティブ・ラーニング型授業を体験します！</p> <p>〈講師〉 ・三重県立石薬師高等学校 教諭 峯下 隆志 (日本青少年育成協会 主任研究員 上級教育コーチ)</p>	8階 音 樂 研	40
⑬	<p>〈アクティブ・ラーニング〉 実践 2</p> <p>「子どもたちの学習意欲を育み引き出す授業空間づくり」は授業開始の3分で決まる！ キーワードは、「伝える」から「伝わる」へ。1コマ45分/50分の授業の見通しが、授業開始の3分間で子どもたちの興味・関心を高めることに連動して示されているでしょうか？その授業を通じて伝えたいメッセージは十分に子どもたちに伝わっているでしょうか？</p> <p>授業の前段階としての「授業規律」を子どもたちの視点から見直すことで授業は「伝える」から「伝わる」へと変容します。</p> <p>「授業開始時3分の行動のポイント」を実践と相互評価で体得することによって、明日から早速活かせる授業改善のヒントが得られることでしょう。</p> <p>〈講師〉 ・株式会社アカデミー 教育事業推進部事業推進課 教師力養成塾 チーフインストラクター 牛嶋 孝輔</p>	8階 研6	40

◆申し込み 問い合わせ先

全体会・各分科会の申し込みは、【online】でお願いします。

☆申し込み開始：12月24日(木) ☆申し込み締め切り：1月27日(水)

※定員に達し次第、締め切らせていただきます。

- ・ 申し込みに関する問い合わせ 専門研修企画グループ (TEL 06-6572-0603)
- ・ 内容に関する問い合わせ 指導研究グループ (TEL 06-6572-0667)